

## 評価細目の第三者評価結果

### 1 共通項目

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

I-1- (1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1- (1) -① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1- (1) -② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>岐阜市の保育理念に基づき保育所の理念「子どもの主体性を尊重し、子どもの最善の利益に努める」「愛情と信頼に満ちた環境の中で養護と教育が一体となった保育に努め、家庭援助や地域の子育て支援」が明文化され、理念を分かりやすく具体化した基本方針「安全で安心できる場」「子どもが自ら育つ力」を育む教育の場」「家庭・地域の子育て力」を育む場、保育目標「心身共に健康で、意欲的に遊ぶ子（元気に遊ぶ子）（思いやりのある優しい子）（自分で考えて行動する子）（創造性豊かな子）」が明文化されており、当所の目指す方向や子どもに働きかけているんな分野での未来の可能性を引き出そうという考え方が読み取れる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1- (2) 理念、基本方針が周知されている。		
	I-1- (2) -① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1- (2) -② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、資料配布、職員会議や研修等を通じて周知を図っている。また、利用者周知については、園内玄関の2か所に掲示、保育所だよりやパンフレットへの記載や入所式や行事の際での説明等を通して保護者への周知を図っている。また、関係機関でのパンフレットの配置や子育て支援活動を通して地域住民周知への取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 岐阜市次世代育成支援計画「輝き」子どもの未来図ぎふ」を受けて保育サービスの中、長期的な施策体系が作られている。それを踏まえて、保育課程、指導計画が策定されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 計画策定にあたっては、各種職員会議で課題分析を行っている。計画の中で組織重点目標を設定し、各職員の目標や役割を明確にして達成状況や評価を行い、次の計画に反映させている。計画の職員への周知については、全職員に文書配布を行い、職員会議で説明して周知を図っている。また保護者や地域の利用者にも文書の所内掲示や配布を通して周知を促している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

## I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 管理者の責任と役割については、職員会議や職員面談において表明しており、組織の役割分担表や「グループの重点目標」に明文化している。所長は管理者として保育所運営について経験に培われた知見を持ち、保育の在</p>		

<p>り方について保育における臨床哲学というべき理念を持っている。法令遵守についての研修は積極的に参加し、職員会議等で職員周知を図っている。「保育士倫理綱領」の所内研修を実施し、また、職員休憩室や事務室での掲示を行い、職員の理解深度を高める努力を行っている。今後とも、保育の関係法令について職員がいつでも手にとることができるよう関係法令をリスト化し、一覧性を高めたファイリングへの取り組みに期待する。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：          所長は、主査会、職員会等で指導計画の評価、課題分析を行い、次の計画の見直しに反映させている。また、「保育士のための自己評価チェックリスト」で保育サービスの自己評価を実施し、サービスの質の向上に努めている。さらに行事等機会を捉えての保護者アンケートを実施し、保護者の意見も保育に活かし、業務改善に取り組んでいる。組織管理目標の各職員の達成状況や評価を日常業務の中や個人面談等で意見聴取し、課題を把握し、助言指導を行いつつ、職員の働きやすい職場環境づくりに努めている。また、チームワークを大切に、職員教育に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体動向の把握については、全国社会福祉協議会発行の「ぜんほきょう」や所長研修等を通じて把握し、職員周知に努めている。また保護者からの意見聴取や地域の子育て支援事業利用者のアンケートから情報収集し、ニーズ把握に努めている。把握したニーズについては職員会議で定期的に課題分析を行い、次の計画につなげていくよう取り組んでいる。保育所の経営管理については、保育所に付与された予算の適正な執行という観点から、消耗品や光熱水費等の節約の工夫をする等コスト意識を高めた取り組みをしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

## Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事権は市にあるが、入所状況、年齢、障がい児保育、長時間保育等の状況に応じた職員配置がなされている。配属された職員については、正規・非正規の雇用形態状況、勤務形態、職員一人ひとりの個性等の状況に応じて、適材適所で、職員の力が発揮できるように努めている。人事考課については、市統一の目標管理制度を導入し実施している。「グループの重点目標進捗票」で達成状況を把握し、職員に面接の際に説明して透明性を高めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況や有給休暇の取得状況について定期的にチェックし、面談等で把握した職員の意向・意見について、課題分析を行い、就業環境を整えるよう努めている。管理職がメンタルヘルス研修を受講し、職員のメンタルヘルスに配慮している。また、市の相談窓口があり、利用可能な体制ができています。</p>		

改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>岐阜市の保育課程・基本方針の中で、職員の資質の向上のための一つの柱として、研修に関する基本姿勢が明示され、年間の研修計画に基づいた研修が実施されている。外部研修については、職位別にスキルに応じた研修を職員の希望を踏まえて各種外部研修を受講させている。受講後、レポート報告を提出し、職員会議で発表し、成果について評価を行い、次の研修計画へ反映させている。また、所内研修も外部講師を招いての実施やOJTによる実践指導を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（４）－② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>市の保育実習受け入れマニュアルに受け入れの意義や方針が明文化されている。マニュアルは職員会議で全職員に周知している。所の使命として積極的な受け入れを行っており、受け入れ体制が確立している。受け入れに当たり、担当者窓口を設置し、保育士、看護師、教員等各種養成校と連携しながら、事前オリエンテーション、実習プログラムに沿った実習、実習後のカンファレンス等の一連の流れができています。実習プログラムは職種別の実習目的に沿うよう具体的なプログラムを作成し、実習中も、養成校と実習の状況について検討するよう連携を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの安全を確保するため、市のマニュアルに加えて、組織として活用できるよう具体的な役割と責任を明確にしたリスクの種別の各種マニュアル（緊急対応マニュアル、安全管理マニュアル等）を作成し、全職員に各種会議等を通じて周知徹底して管理体制を整備している。ヒヤリハット事例についてはクラス担当で検討し、職員会議で課題分析と改善策を作成して全職員に周知している。また、職場内研修を実施し、安全確保のための意思を高めている。事故防止のための各種チェックリスト（クラス別事故防止チェックリスト、施設内の安全・衛生チェックリスト、遊具安全チェックリスト等）を整備し、実施、評価、見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>官公庁がある市街地の中心部に位置し、利用が広範囲であるという当所の特性から、地域密着型の保育所と比較すれば、地元地域とのつながりを深めることには一般的に課題が多いのではないかと考えるところであるが、地域交流についての積極的な取り組み姿勢が見られる。地域の住民や関係機関との連携マニュアルを整備し、地域との相互の行事での交流や子育て支援事業を通して、交流の活性化に取り組んでいる。地域の保健所、児童館、公民館等での広報活動、出前保育の実施や中高生の保育体験の受け入れ等を行っている。子育て支援センターを設置し、子育て相談、園庭開放、親子教室、子育てセミナー、一時預かり、ハッピーパパ・ママ保育所体験事業、みみちゃんクラブ等の事業実施を通して保育所機能の地域還元に取り組んでいる。ボランティアの受け入れについては、市のボランティア受け入れマニュアルに基づいて受け入れしている。</p>		

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども保育の様々な場面に必要な社会資源（保健所、発達相談センター、嘱託医、ことばの教室、子ども相談センター、小学校、主任児童委員、民生委員、公民館、児童館等）をリスト化し、職員会議や回覧等で職員周知を図っている。関係機関との連携を密にし、子育て支援事業や相互の行事についても連携しながら実施している。保幼小の連携強化の観点から、小学校の先生の保育所体験の受け入れを実施し、交流を深めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子育て支援センター事業実施や地域の利用者アンケート実施を通して、地域の子育てニーズを把握している。また、地域の関係団体・関係機関との連携を密にして、地域の子育てニーズの把握に努めている。地域の拠点保育所として、地域のニーズに応じて、休日一時預かり事業や一時預かり事業、ハッピーパパ・ママ子育て体験事業を実施している。他にも、園庭開放、出前講座、子育て相談等の事業を実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ－１ 利用者本位のサービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（１）－②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を保障する」という保育の基本姿勢が理念や基本方針に明示されている。子どもの人権について玄関に掲示している。所長は、子どもの「育つ権利」を大切にし、子どもの主体性を尊重した保育の在り方について職員会議で検討している。また、職場内研修会等で保育士倫理綱領、人権、利用者尊重について学びを深めている。虐待対応マニュアルを整備し、虐待予防チェックシートを作成する等迅速な対応ができる体制がある。プライバシー保護については各職員に職場内研修や職員会議等で意識付けを行い、個人情報保護マニュアルに基づいて徹底した管理がなされている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ－１－（２）－①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（２）－②	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>運動会や保育参観等の行事毎のアンケートを実施し、個別懇談、クラス懇談会での意見のくみ上げを行い、園内２箇所に意見箱の設置する等保護者の意向把握に努めている。主査会や職員会議で把握した意向について分析・検討し、改善する取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子育て支援担当者を配置し、子育て相談の案内について掲示している。保護者会等の機会を捉えて意見や相談受付の案内について説明し、プライバシー保護についての配慮の姿勢を示し、保護者が意見を述べやすい環境整備に努めている。苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員、苦情解決の流れ等の仕組みが確立されている。苦情解決の仕組みの案内ポスターも所内2箇所に掲示されている。また、保護者からの意見等について、マニュアルに沿って、迅速に対応している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

### Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>大規模保育所であるので、クラス単位複数の保育士で保育実践を互いに評価し、検討し、改善する仕組みがある。それは意見交換の中から、互いの気づきを引き出して学びを深め、今後の保育に活かしていく取り組みである。保育所の自己評価については、各職員が自己評価を行い、その評価結果を職員会議で分析し、課題を明確にして全職員で共有し、改善策を立て実施している。また、目標管理制度の中でもサービス評価の仕組みがある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２－（２） 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法について個々のサービス場面に応じた各種マニュアルが整備されている。保育課程、指導計画に基づいた保育を実践し、月案、週案、日案と評価反省を行い、次の保育につなげている。標準的な実施方法の見直しについては、「自己チェック表」を活用して定期的なモニタリングを行い、職員会議で検証と見直しを行っている。その際、保護者役員会にも意見を聞いている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。</p>	
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、子ども一人ひとりの個別記録が整備され、子どもの生活状況等が適切に記録されている。子ども一人ひとりの育ちを保障するため、ケース会議で情報の共有化を図り、各種会議や回覧等で職員周知を図っている。記録管理は厳重に行われ、個人情報保護の重要性について職場内研修を通して職員に周知している。また延長保育を実施する保育所であり、職員の交代があるため、情報の職員間での共有化についての重要性を認識している。独自の工夫として、「延長ボックス」「長時間チェック表」があり、記録が残る紙ベースで確実な情報の流れを担保している。また朝、夕の延長時の対応マニュアルを整備している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅲ－３ サービスの開始・継続

<p>Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>	
<p>Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>	

<p>良い点／工夫されている点： サービス情報はホームページで紹介し、保育所玄関には保育内容など紹介した案内を置いて誰でも閲覧できるようにしている。また、公民館、保健センター、児童館等関係機関に案内を配布して情報提供している。入所にあたっては、保育サービスの内容や料金等について保護者に分かりやすい文書を配布し、説明し同意を得ている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>	
<p>Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 市内の保育所への転所に際しては、個別記録書類を申し送り、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、保育所児童保育要録を送付し、子どもの育ちの継続が保障されるようにしている。保育終了時にその後も相談が可能であることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

<p>Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－４－（１）－② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 市で統一したアセスメント様式（家庭状況、成育歴、心身状況等）を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりの発達や個性に応じた保育を実践するために、個別指導計画、個別記録等に記入し、評価し、課題を明確にしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>計画の策定については、保育課程に基づいて、子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保護者の意向を取り入れ、一人ひとりの個性を大切にされた指導計画を職員会議を経て策定している。指導計画は、期別で各学年で評価し、職員会議で課題分析を行い、見直しを行っている。指導計画を緊急に変更する場合は、各クラス代表者会議、主査会で検討し見直しを行う仕組みがある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## 評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

### 評価対象Ⅳ 子どもの発達援助

#### Ⅳ－１ 発達援助の基本

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育計画は、保育の基本方針に基づき、地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育計画は、保育の基本方針に基づき、各年齢に適したねらいが立てられ、気づきと課題が明確に捉えられ作成されている。毎月保護者会の役員会が開かれるので、その話し合いの中で出される計画内容についての意見を反映させたり、アンケートを年3回実施し、保護者の意向を考慮して作成している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２） 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改訂していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>月1回職員会議において、指導計画の評価を行い、課題について所長、グループリーダーがチェックをし、翌月の指導計画に反映している。具体的には各保育士が計画の自己評価を行い、所長、グループリーダーの意見を聞き、指導計画の見直しを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

#### Ⅳ－２ 健康管理・食事

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの健康管理に関するマニュアルに基づき、何か異変のある場合は常勤の看護師が子どもの体調、怪我等について適切に対処したり、保護者に連絡を取ったり等柔軟に対応している。子ども一人ひとりの健康管理については児童票に既往症や予防接種について記録している。特に長時間児が多いため、健康管理のチェック表が整備される等行き届いており、早番担当職員から担任へ、担任から遅番職員へと健康状態に関する情報の共有、連携がなされている。看護師が常勤していることで、子ども達の健康管理が十分行き届いている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>健康診断の結果については、保護者にはそれぞれ個別に健診結果のお知らせに記入し、配布し、職員には健診結果を回覧して伝達している。また嘱託医と受診結果についてカンファレンスを行っている。当日お休みした子どもについても健康診断を促している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-2-(3) 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させていますか。	㉠・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          歯科健診の結果について、保護者に伝達している。特に治療が必要な子どもの保護者にはその旨の結果のお知らせを配布している。職員には健診結果を回覧し、全職員に伝達している。健康教室の中で、歯みがきの大切さや磨き方等、子どもに話したり、紙芝居を見せたりして視覚に訴える指導を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者、全職員に連絡していますか。	㉠・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          感染症対応マニュアルに基づいて、発症時には全職員に伝え、保育室等の消毒を行う等対応できるようにしている。研修も看護師の指導のもとで行っている。各保育室の入口には保護者に分かりやすく感染症に関するお知らせが掲示され、発生した時には印刷物で知らせたり、直接伝達できるようにしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの症状に応じて適切な対応を行っていますか。	㉠・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          保育所食物アレルギー児の給食対応マニュアルがあり、医師の意見書に基づいて、食事内容を保護者、所長、担任、調理員で月1回面談を行い、皆と同じ献立になるように配慮し、安全に食事を提供している。特に長時間保育の場合についても朝のチェック表でアレルギー疾患を持つ子どもについては長時間保育のおやつまで安全に対応できるよう明記して伝達している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしていますか。	㉠・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          子どもの喫食状況については毎日保育士が状況を把握し、調理員も喫食状況を確認しながら、喫食状況を給食日誌に記入している。年6回、市の給食献立検討委員会で献立の内容の検討を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 子どもたちが食事を楽しむことができるように工夫をしていますか。	㉠・B・C
<p>良い点／工夫されている点：          調理員から献立の話の聞いたり、テーブルを飾ったり、音楽を流したりして、楽しい雰囲気の中で食事を楽しむ工夫をしている。子どもの人数が多いので、縦割り交流はなかなか困難があるが、たとえば34,5歳児はクリスマス会等の行事の時には一緒に、花を飾ったり、キャンドルを立てる等楽しい雰囲気の中で食事をする機会を作っている。また保育所で栽培、収穫したサツマイモ、玉ねぎを子どもたちに皮をむかせたり、切らせたりして食材に触れる機会を作ったり、玉ねぎはカレーの材料にサツマイモは鬼まんじゅうにする等それらの料理を献立の中に取り入れたりしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-2-(8) 子どもの食生活について家庭と連携していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>献立表、給食だよりで作り方、レシピ等記載して保護者に配布したり、サンプルを週2回玄関等2か所に展示し、具体的にどのような物を食べているのか、どのように調理されているのか保護者にお知らせし、関心を深めてもらえるようにしている。またアンケート箱を設置しているので、保護者からの感想を聞ける機会にもなっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### IV-3 保育環境

IV-3-(1) 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していますか。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>都市部のため園庭が狭く、砂場が小さい、遊具が不足している等戸外の環境は十分ではないが、室内では子どもが心地よく過ごすことができるように、1日2回、温度・湿度を測定、記録し、エアコン・加湿器等を活用する等室内の温度湿度調整を行っている。また保育室の中は手作りコーナーがあり、ごっこ遊びができるようになっている。絵本コーナーにもくつろげる場所があり、通路、トイレなど安全面での配慮が行き届いている。定期的に室内外の衛生管理を行い、清掃する等清潔を保つようにしている。砂場は週2回掘り起こし、夜間はシートを敷いている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-3-(2) 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用児の人数が多いため、子ども一人当たりのスペースが十分とは言い難いところもあるが、机を移動させて保育に必要なスペースを作り活動を行う等、無駄な空間を作らず、十二分にスペースを活用している。また展示物や飼育物、植物等は子ども達の目線で設置され、適切な生活の場が作られている。保育室、通路は優しい色彩で壁面構成がされていて心地良い。また近くの公園に出かけ、自然物に触れたり、集めたりして季節に合わせた保育を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### IV-4 保育内容

IV-4-(1) 子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めていますか。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各保育室を見学した際に、保育者の笑顔と穏やかな動作の中に、いつでも子どもの思いを受け止め、子ども主体の保育実践を行おうと心がける姿勢が見て取れた。未満児が落ち着いて食事をしている姿を見て、子ども達が安心して生活している様子が伺えた。1年の後半のこの時期は保育の充実期であると考えているが、どの保育室を見学しても子ども達と担任が向かい合ってそれぞれの活動を楽しみ、信頼と安心の絆がしっかりできていると感じた。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-4-(2) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応していますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：          子ども一人ひとりの生育歴、発達状況を考慮し、子どもの主体性を大切にした対応に心がけている。子どもの状況に応じて言葉がけをし、子どもの自主性を育て、できた喜びが感じられるような援助を行っている。トイレでは担任が子ども達の状況を見守り、援助し、声をかけている。トイレを失敗した場合もつい立をする等、その子のプライバシーを守りながら支援している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-4-(3) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されていますか。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：          各保育室には保育士手作りのごっこ遊びのコーナーがあり、家庭的な遊びが自由にできるようになっている。各保育担任は子ども達が子どもの発達段階に応じて主体的に遊べようとして援助をし、子ども達が安心して自発的な活動ができるような環境作りがなされている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-4-(4) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：          小動物(メダカ、ザリガニ等)を子ども達が観察できる目線に設置し飼育して、玉ねぎ、さつまいも等を育て、味わう等して、自然物に接する機会を作っている。また近くの公園に出かけ、落ち葉・木の実を拾って作品を作る等活動に取り入れている。日本の伝統的な行事(七夕・餅つき・新年お楽しみ会・節分等)や特に地域に受け継がれている行事(花餅づくり)についても保育活動の中に取り入れている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-4-(5) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮していますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：          保育室には子どもがいつでも自由に使えるように、クレヨン・粘土や楽器等用意している。近くの施設(集会所)でお年寄りの方々に歌や楽器演奏の表現活動の発表の場があり、お年寄りにも喜ばれている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-4-(6) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮していますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：          保育活動の中で異年齢の子と一緒に楽しむ「お店屋さんごっこ」、運動会で行った種目を皆で再現して楽しむ「運動会ごっこ」を行い、「子どもフェスティバル」においても年長児が年少時に兜を紙で作ってプレゼントする等異年齢の子どもの交流が行われている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-4-(7) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮していますか。	(A)・B・C
--	---------

<p>良い点／工夫されている点：        子どもが主体的に意見を言ったり、友だちの思いを受け止めたりできるように、保育士は子どもにも共感し、子ども達が自分で考えて行動できるような働きかけをしている。また外国の文化圏の利用児との違いを認め合い、お互いを尊重をしながらのコミュニケーションが行えるように配慮している。子どもの権利擁護に関する研修については全職員が参加し、内容については玄関に掲示して保護者に周知している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-4-(8) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業などの意識を植え付けないよう配慮していますか。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：        女性、男性の保育士がいるが、特に固定的な男女の役割についての先入観を持たず、男だから、女だからという役割分業意識を植え付けないように保育を行っている。また性差に関する研修も行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

<p>IV-4-(9)        乳児保育のための環境を整備するなど、保育の内容や方法に配慮していますか。</p>	<p>第三者評価結果        Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：        保育室は明るく安心できる環境が整備されている。マニュアルに基づいて、一人ひとりの発達に合わせて対応できるように、指導計画、個別記録に記載し、保育実践をしている。SIDSの知識が全職員に周知され、寝かせ方や子どもの姿勢、ベビーセンスの使用、午睡チェックなど安全保育に努めている。また食事場所と午睡場所をアコーディオンカーテンで仕切り、安心できる空間が確保されている。離乳食については家庭と連絡を取り合いながら進め、サンプル写真を見せる等情報を知らせている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-4-(10) 長時間にわたる保育ための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮していますか。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：        保育室は家庭的で安心してくつろぐことができる環境を整備している。長時間にわたる保育のために必要な事項等まとめたマニュアルを作り、全職員が長時間保育に関して高い意識を持って保育をしている。特に確実に連絡、薬の受け取りなど引き継ぎがなされるために考え出された「延長ボックス」や「長時間チェック表」を用意し、子ども達の受け入れや、保護者への連絡や対応をスムーズにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-4-(11) 障害児保育ための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮していますか。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：        障がい児一人ひとりの特性に合わせた個別の指導計画が立てられ、本人の主体性を大切にしながら成長が見守られている。たとえば一日の保育の中で本人がホッとできる、落ち着くことができる場が設けられていたり、目に付く所にポスターを貼って視覚に訴え、本人に分かるようにする等その子に合った指導が工夫されている。他機関との連携では、ことばの教室、保健センター、子ども相談センター、専門病院等関係機関と連携し、必要に応じて相談や助言を受けている。</p>	

改善できる点／改善方法：

## 評価対象V 子育て支援

### V-1 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果
V-1-1 (1) 一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 送迎時や連絡帳などで子どもの様子を伝えたり、所長や保育士が保護者からの相談に応じたりしている。クラス懇談、個人懇談の機会を設け、保護者との面談を行い、いつでも相談に応じる等子育て支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-1 (2) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録していますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 子育て相談記録や個別記録に、保護者との相談、面談内容や家庭状況等記録し、相談内容によってはケース会議を行ったり、職員会議で話し合う等適切に対応がされている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-1 (3) 子どもの発達や育児などについて懇談会などの話し合いの場に加えて保護者と共通理解を得るための機会を設けていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 年1回クラス懇談会を行い、子どもの発達や育児等について保護者と話し合う機会を設けている。その他に1回保護者会役員会を行い、保護者同士で意見交換、話し合いの機会を作っている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-1 (4) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 虐待マニュアルに基づいて、虐待について研修を実施し、早期発見に努め、速やかに対応できる体制ができている。虐待が疑われているかどうかを確認する「おやおやチェックシート」を活用し、疑われる場合には所長まで届く体制になっている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-1 (5) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 「おやおやチェックシート」に基づいて、虐待が疑われる場合は、子どもの人権に配慮して観察し、情報を収集し、市担当課、保健センターと連携を図り、子ども家庭課、児童相談所など関係機関に照会・通告できる体制を整えている。	

改善できる点／改善方法：	
V-1-(6) 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 一時預かりについては、専用の保育室で担当保育士2名が保育にあたっている。子ども達が安全安心に生活できるよう保育士が寄り添って保育を行っている。園内の行事や通常保育にも一緒に参加し、子ども達が安心して生活している姿が見られる。送迎時に子どもの状況を記録して伝えたり、相談に応じながら、保護者とのコミュニケーションを図っている。	
改善できる点／改善方法：	

## 評価対象VI 運営管理

### VI-1 安全・衛生管理

	第三者評価結果
VI-1-(1) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 事故や災害について適切に対応できるよう「事故防止マニュアル」「安全管理マニュアル」「地震防災マニュアル」等各種マニュアルがあり、関係機関等連絡網の掲示や職員会議での説明で職員に周知している。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 「事故防止チェックリスト」「園庭の固定遊具チェックリスト」等各種チェックリストがあり、毎月チェックを行い、課題となるところは速やかに対策をとっている。職員はヒヤリハットを記載し、ケース会議を開いて検討している。消防、警察等から講師を招いて講習を受けている。	
改善できる点／改善方法：	

VI-1-(3) 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 食中毒発生対応マニュアルがあり、全職員に周知されている。特に調理員はマニュアルに沿って安全管理に努めている。また下痢・嘔吐の対応については保育士複数で対応する等保育所独自のマニュアルがあり、感染防止に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

	第三者評価結果
VI-1-(4) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 「岐阜市保育所給食マニュアル」「保育所給食衛生管理マニュアル」「保育所給食調必携」等各種マニュアルに基づいて衛生管理を行っている。年3回、給食施設の環境衛生検査を実施している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

VI-1-(5) 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 不審者対応マニュアルを作成している。そのマニュアルに沿って訓練を実施し、各クラスで評価を行い、課題になったところは職員会議で検討し改善している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

### Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部から侵入に対する対応策がとられていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 市の安全安心ネットワークが構築され、不審者に対する情報連絡体制があり、不審者発生時には、保育事業課、小中学校、近隣住民から情報を得ることができ、職員や保護者に周知する体制ができています。外部からの侵入を防ぐため、施錠マニュアルを作成し、マニュアルに沿って出入り口の施錠等を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 年間行事等4月の入所式に予定表を配布している。保護者が参加しやすいように、年間予定表の他、毎月の保育所だよりや案内を通して行事日程等知らせている。できるだけ参加をしていただくよう土曜日に行事を行ったり、運動会も近隣の県立盲学校が休校時にグラウンドを借りて多くの人のためのスペース確保をする等配慮している。保育参加や懇談会に参加できなかった保護者に対しては、資料を渡したり、その時の様子を伝えたりしている。また行事ごとにアンケートを行い、保護者の意見を取り上げている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

VIII-3-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月1回保護者役員会を行っており、会には所長が参加し、意見交換している。その際には施設を提供し、託児の支援もしている。園の行事では、保護者会から多方面で積極的な協力が得られている。また保護者会主催の「夕涼み会」「キャンプ」等にも、職員が参加する等協力体制ができています。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### VII-4 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VIII-4-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>教育委員会の事業として小学校の教員の1日保育体験を受け入れたり、年長児が小学校1年生の学習の様子を見学したり、ドッジボールを行う等小学校との交流が行われている。また保育士は卒園児の学校の参観や懇談会に出席している。就学児についての保育所保育要領を学校へ送付する等、小学校と連携した取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	